事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

	コード		名	称		区分	コード		名	称			
古光夕	040	主山 去 ル			会計	01	一般会計		.,				
事業名	948	再四又化	センター隣保館事	未		款	03	民生費					
基本	39	如莎兰则/	の観光に向け 巨	1年1日本本体に進める		項	03	同和行政費					
施策	39	即洛左加	『落差別の解消に向け、同和行政を推し進める					隣保館費					
施策	3	米児館の	左 宇			細目	102	2 隣保館事業経費					
ル 東	3	対体品の	隣保館の充実					青山文化センター隣保館事業経費					
基本	計画該	当頁		151	行	丁革大綱	の重点	点事項番号		7			
担当部課	<u>П</u>		751	100		评価者		藤田 幸一	連絡先	55 –	2411		
担当的缺	名称		青山支所青山	文化センター		氏 名		際山 ギ	连附九	(内線)			

事業	の計画・内容	
	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	月山文が官内を主とした印式	地域住民と他地区の交流を図り、人権意識の高揚が図れる。 人権学習を通じ、人権、同和問題に取り組む人材育成ができる。
1 8 #	(※対象件数) <mark>処法令・要綱等</mark> 隣保館設置運営要綱(厚生労働省発第0829	2002문)
	<mark>処法令・要綱等</mark> 隣保館設置運営要綱(厚生労働省発第0829 始年度 平成 年度 _{関連事業}	9002号)
	7年度 平成 年度 関連事業 了年度 平成 年度	
事業内容	 ・ 人権解放講座 年7回 ・ 各種教室の開催 月1~2回 陶芸教室 手芸教室 お茶教室 生け花教室 手話教室他 ・ 文化センター文化祭 ・ 健康栄養教室 介護教室 ・ 解放学習会 ・ 講演録作成 	人権啓発リーダー育成として実施している、人権解放講座 も、青山支所管内だけではなく伊賀地域の参加者が増えている。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

整備内容 1 建設用地 2 建設面積(延床面積) 3 規模・構造 4 総事業費

運営体制

建舌冲刺			
1 運営主体	直営	□指定管理	□民間委託等
委託先			
2 配置(予定)人員			人
3 年間運営費			★ 千円
4 市内の類似施設			

事業類型 I ソフト事業 事業種別 補助 継続

尹未天積								
活動指標	単位	実	績値	目標値				
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	中世	H18	H19	H20	H21			
人権解放講座の開催	回	目標	7 目標 7	7	7			
入惟附瓜禑座の用惟	쁘	実績	7 実績 7	1	1			
文化祭の開催	回	目標 1	目標 1	1	1			
文化宗の開催	쁘	実績 1	実績 1]	1			
各種講座 教室	回	目標 62	2 目標 62	63	63			
行性講座 教主	ī	実績 62	2 実績 62	03	03			

2次評価対象分

評価指標

日間に対する									
事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位		実終		目標値			
事業の成素を関る目標	1日1宗政との考え力	<u>+</u>		H18		H19	H20	H21	
文化祭及び講座 教室参加者数	参加者の満足度により、参加者増を指標とす	1	目標	2107	目標	2160	2185	2185	
大儿宗及び講座 牧主参加有数	る。	^	実績	2132	実績 2185		2100	2100	
各種相談(生活、健康、介護)	地区住民の生活課題に対応している。	件	目標	650	目標	680	700	700	
台俚怕談(土冶、健康、月暖)	地区住民の生活味趣に対応している。	1+	実績	684	実績	748	700	700	

評価		
評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	人権学習の拠点として十分機能しており、必要な事業である。 住民の生活相談をはじめ各種相談事業の実施により、生活福祉の向上をはたす機能をになっている。
有効性	4	人権解放講座は、地域で人権・同和問題の解消に向けた取り組みを主体となって進める人材育成がはかられる。
達成度	4	ほぼ計画どおり実施された。
効率性	3	隣保館、児童館、教育集会所の施設が、住民や市民に理解されており有効に利用されている。 また、啓発広報により各講座、教室の参加者数の増加につとめることや、参加者の一部負担の検討をする。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
Α	現状維持	各種相談事業の実施については、関係機関と連携をはかりながら住民の福祉向上をはかる。

	年度						医 決算内容	容	平成1	9年度	決算内容		平成20	0年度 計画	内容	平成2	1年度	計画内	容	平成2	2年度	E 計画 P	内容		23年度		容
	十尺				事業内容	数量	単位	金額	事 業 内 容	数量	単位 金額	事業	内 容	数量単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額
淮		. \ .						(千円)			(千)	9)			(千円)				(千円)				(千円)				(千円)
, LE	委託				報償費			1,076	報償費		1,1	44 報償費			1,128	報償費			1,128	報償費			1,128	報償費			1,128
捗					旅費				旅費			05 旅費				旅費				旅費				旅費			9
				事	需用費				需用費			85 需用費			684	需用費				需用費				需用費			648
状	工事		+ $$	美	役務費				役務費			20 役務費				役務費				役務費				役務費			120
			\rightarrow	内容	使用料及び賃借料	4			使用料及び賃借料			39 使用料及	び賃借料	.		使用料及び賃借料	.			使用料及び賃借料	4			使用料及び賃借	料		136
況				一台																							
					その他			19	その他			53 その他			30	その他			30	その他			30	その他			30
					(1)				C ** 1.0											(1) [
7	上 掛率			-																							
Î	(%)		\		事業費計(A)		Σ	2,042	事業費計(A)		Σ 2.3	16 事業費	計(A)	Σ	2,107	事業費計(A)		Σ	2.071	事業費計(A)		Σ	2.071	事業費計(A)		Σ	2,071
		事業投入	18	•		1.0				1.0				10 1			1.0				1.0				1.0	-	7,000
		尹未拉人.	人貝		人件費(B)	1.0	^	7,200	人件費(B)	1.0	人 7,2	00人件費	(B)	1.0 人	7,200	人件費(B)	1.0	人	7,200	人件費(B)	1.0	' ^	7,200	人件費(B)	1.0	^	7,200
	フ	ルコスト(A)+(B)			_		9,242			9,5	46		-	9,307				9,271			_	9,271				9,271

事業費(人件費除く)の財源内訳

手月	(貫(人忤賀隊く)の財源内訳						
(A)	事業費	2,042	2,346	2,107	2,071	2,071	2,071
	国庫支出金						
I A	県 支 出 金	968	1,002	1,002	1,002	1,002	1,002
りゅ	地方債						
河	受益者負担						
一内	その他						
記	一般財源	1,074	1,344	1,105	1,069	1,069	1,069
ш	計	2,042	2,346	2,107	2,071	2,071	2,071
1/用	その他特定財源の名称・補助基本額・ 率	県単隣保館補助金	県単隣保館補助金	県単隣保館補助金	県単隣保館補助金	県単隣保館補助金	県単隣保館補助金
考	サ 地方債の区分と充当率等						